

令和5年度 国際自然環境アウトドア専門学校 学校評価委員会 議事録

開催日時：令和6年3月8日 11時00分～12時00分

会場：国際自然環境アウトドア専門学校 教室(一部委員オンライン参加)

出席者：

評価委員

- ・ 畠山 浩一 公益社団法人日本山岳ガイド協会 常務理事
- ・ 萩原 浩司 株式会社山と溪谷社 取締役 山岳出版本部 本部長
- ・ 小林 朋広 国立妙高青少年自然の家 所長
- ・ 宮下 富男 妙高市原通自治会 会長
- ・ 大瀧 則雄 学校長
- ・ 植木 潤 副校長/事務局長
- ・ 田辺 慎一 教務部長/就職部長
- ・ 遠藤 晋 野外教育・アウトドアスポーツ学科 学科長/  
キャンプビジネス学科 学科長
- ・ 向 滉 自然ガイド・環境保全学科 学科長/自然環境保全学科 学科長
- ・ 吉田 美栄 山岳プロ学科 学科長
- ・ 小野 彰太 アウトドアプロインストラクター学科 学科長

(都合により欠席)

- ・ 池田 潤 妙高市観光商工課 課長補佐

議事進行次第により実施

1. 議事

植木委員以下内容の説明を行う

1) 説明

(ア)学校関係者評価委員会について

(イ)職業実践専門課程について

(ウ)令和5年度自己評価について

議事内容を説明後各委員の皆様方に審議をお願いした。

畠山委員

学校運営の評価については、今ご説明いただいた通りだと思う。自分も実際に学校を拝見しているので、おっしゃっていただいた通りだと思っていて、特に私の方から申し上げることはない。

#### 萩原委員

いろいろ聞かせていただいたが、評価に対しては特に異存はない。唯一 2 の評価があった、課外活動に対する支援活動についてのご説明もいただいております、異を唱える理由はない。

#### 小林委員

ボランティアの話があったが、国立青少年教育機構としてボランティアを養成している口座を行っており、一度登録するといろいろなボランティアができようになる。そういった制度をご利用いただくのもいいと思うし、それ以外でも施設としていろいろな協力をいただける体制があるので、そうしたところも知ってほしい。

#### 宮下委員

令和 5 年に妙高地域全体で妙高クリーンアップという活動を行っている。原通地域では、専門学校さんから参加してくださる地域になっており、大勢の方に参加頂いて大変ありがたい。歩道をウォーキングしながらゴミを拾うような形になっている。この地域も他の中山間地域と同様に、高齢者の割合が多くなっている地域で、若い人が来て地域の活動に参加してもらえるだけでも、地域が元気になるような感じがしている。

もう 5 年後 10 年後にはかなり厳しい状況になると思っているので、今後も専門学校様と連携を取らせてもらいながら、地域の活動に専学生が参加していただけるだけではなく、企画段階から入っていただくようなことがあればありがたいと思っている。地域の自治会の活動を活性化していく必要があり、そういった機会があるとありがたい。

地域では高齢化が進んで農業の担い手も減って来ているので、地域の活動とは違ってもかもしれないが、傾斜地の草刈り作業などでは学生にアルバイトとして入っていただくこともあり、地域と交流しながら少しでもそうした担い手不足の解消というところでも今後、連携させていただければありがたい。

#### 植木委員 宮下委員への回答

ありがとうございました。毎年ボランティア活動として学生参加させていただいており、地域との関係を作るにあたって少しでもこうした活動を推進していきたいと思う。また今年度から学園祭が復活し、少しスタイルを変えて令和 5 年度からは地域密着型のイベントに変えてきた。非常に地域の方が多くの方に来ていただいて、盛り上がったと思う。今年度も 11 月頃に学園祭を予定していて、また詳細決まればご案内して、地域の方々と交流できるよう丁寧に準備していきたいと思っている。水田の草刈りについて、アルバイトという形であれば、やはりこの環境なので、移動手段がなくてアルバイトにあまり行けない学生も多いので、学生にとってもいいと思う。引き続きよろしくお願ひしたい。

閉会